

来年2月5日投票
北九州市長選



11/29記者会見のながた候補（西日本新聞）

「結成総会」で、ながた候補が決意表明を

12月2日、笑顔と希望の北九州市をつくる会の結成総会が戸畠生涯学習センターで行われ60名が参加しました。三輪事務局長から会の代表世話人の紹介がされ、荒川市議員団長は、市長選の情勢と永田市政実現の意義について、4期16年の北橋市政は自公に支えられ、政府にモノが言えない市政だったとし、永田市政の実現で「住民の福祉の増進を図る」地方自治体の役割を果たす北九州市に切り替えることを呼びかけました。

県議選を闘う稻月（小倉南区）、山口（若松区）まじま（八幡西区）3氏が紹介され、田村貴昭衆議院は激励あいさつで、ながた候補との大学時代からの親交を紹介し、コロナ、統一協会、物価高への国民の願に応えない岸田政権の実態を報告しました。国にモノを言える政令市の市長がいてもいいのではないか、と訴えました。

ながた候補は、立候補表明後ただちに各団体を訪問し、コロナでの医療現場がたいへんな実態や中小業者の方が物価高で営業に苦労している実態を聞き、市民のくらしと地域経済を立て直し、ひとり1人を大切にする市政に切り替えることがいま求められていると、力強く決意を述べました。

また、2人の子どもを育てる中で、保育所の民間委託や学校給食の民間委託に反対する保護者の運動を行ってきたこと、さよなら原発など市民運動にかかわってきたことなどにふれ、市長の姿勢が変われば市政は変えることができる、保護者や住民の願が生かされていない現市政、市民の声を活かす市政実現へ切り替えるために先頭になって奮闘すると訴えました。

会の名称、会則、役員、当面の取り組みが参加者全体の拍手で承認されました。

12月10日(土) 事務所開き & 小倉駅南口宣伝
10時 11時半

事務所 小倉北区下到津1丁目2-1 U&Iビル1階